

# かみさと



## 学校教育目標

豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

- ㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ  
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2-2

令和2年7月1日(水) 7月号

TEL048-794-2316

## 「心のきよりを縮めること」と「いじめ撲滅強化月間」

校長 梶山 崇

7月を迎えました。雨が降ることが多いですが、子どもたちは元気に登校しています。保護者・地域のみなさまには6月1日～12日の分散登校期間中、朝以外にも子どもたちの安全指導や旗振りをしていただき、感謝しております。子どもたちは登校したとき、マスク越しですが、「おはようございます」と元気にあいさつをしてくれます。いつものことですが、子どもたちの元気なあいさつの声は私たち教職員にとって、このうえもない「元気づけられるもの」です。

文部科学省、さいたま市教育委員会から新しい学校の生活様式が示されました。その新しい生活様式の中で、さいたま市教育委員会は「友だちとの間を空けよう」と呼び掛けています。子どもたちの健康安全が優先となるのでいたし方のない面もありますが、同時に「心のきよりは縮めよう」とも呼び掛けています。

私も全く同感です。こういうときだからこそ、ふだん以上に人にやさしく、親切にすることがとても大切だと思います。現在、社会全体がぎすぎすしている面があると思います。しかし、子どもたちが学校でいろいろな制約がある中、学習にも運動にも前向きに取り組んだり、友だちと楽しそうに遊んでいたり、マスクをしながらも元気に遊んでいたり、マスク越しに大きな声であいさつをしてくれたりなど、本当にすばらしいと思います。大人として見習わないといけないと思います。本当は子どもたちこそ、今までと違った学校生活となってしまった部分が多く、つらいことが多いのではとも考えてしまいます。

子どもたちにも「心のきよりは縮めよう」について考えてもらいたいので、そのためにどんなことができるのか、本校の6年生にアンケートをお願いしました。

一人ひとりの6年生が真剣に考えてアンケートに答えてくれました。すべての意見を紹介できないのが残念です。

6年生から出された主な意見

- テレビ電話（相手の顔を見ながら話ができるオンライン等の通信手段を使って）
- 一人ひとりの距離を空けての運動・外遊び、みんなでやるゲーム等
- マスクをして笑顔で話す

学校生活に制約のある中ですが、相手の顔を見ながら（見られない場合はオンライン等の通信手段を使って）話をする、相手との距離に気を付けて遊ぶ、スポーツをする、ゲームをする、など相手とコミュニケーションを取ることの大切さについて改めて再認識することができました。6年生のみなさんアンケートへのご協力ありがとうございました。

また、今月はいじめ撲滅強化月間です。7月2日の放送によるお話朝会で、私は自分のいじめられた体験を子どもたちに話そうと思います。低学年の子どもたちには内容が難しいと思いますが、SNSによるいじめ、新型コロナウイルス感染症に係るいじめ・差別についても話をしようと思います。そして、いじめや差別は絶対にしてはいけないことを強く呼び掛けます。もしもご家庭でお時間がありましたら、お話朝会で私が話した内容について話題にしていただけましたら幸いです。いじめ等ご心配なことは遠慮なく学校にご相談ください。

今月も本校の教育活動にご支援をよろしくお願いいたします。